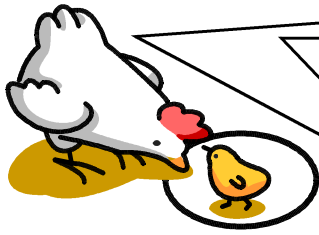


令和3年8月25日

八戸市立新井田小学校
同 父母と教師の会



啐啄

N0.746

☎ 25-5125
☎ 25-3150

さらなる「自己有用感」のアップ！をめざして

校長 成田明彦



選手の頑張る姿に元気をもったオリンピックが終了し、昨日からパラリンピックが始まりました。学校も33日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が戻ってきました。新型コロナウイルスの感染拡大が日本中でみられますが、子どもたちをはじめ各ご家庭で検温や手洗いなどの感染症予防に取り組んでくださったことにお礼申し上げます。夏休み明けも、新たな生活様式を守って学校生活を過ごしていけるよう万全を期してまいりますので、引き続き感染症予防にご協力をお願いいたします。6年生の保護者には夏休み中にメール配信でお知らせいたしましたが、現在の状況を鑑みて今月の29～31日に予定していた修学旅行を10月17～19日に変更いたしました。第5波と言われている現在の状況が収まり、修学旅行が実施できることを願っています。

さて、今年度の学校目標「他者や集団との関係の中で、自分に自信をもち、生き生きと活動できる子どもの育成」について、夏休み前に全校児童にアンケートを実施しました。このアンケートは、子どもたちの「自己有用感：他者や集団の関係の中で、自分の存在を価値あるものとして受け止める態度のこと」の高まりを確認するためのものです。今後も同じ内容のアンケートを実施し変容を見ながら指導に生かしていきたいと考えています。アンケートの結果は以下のとおりです。（肯定的に回答した児童の割合）

- 1 「先生はほめてほしいと思うことをほめてくれる」…89%
- 2 「先生からわたしに話しかけてくれる」…88%
- 3 「先生は、話を聞いてほしい時には話を聞いてくれる」…92%
- 4 「先生は授業の中で、クラスの人同士でよいところを認め合う場をつくってくれる」…94%
- 5 「自分にはよいところがある」…80%
- 6 「自分はみんなの役にたっている」…74%
- 7 「自分はクラスや学年が違う人とも協力して行動している」…85%
- 8 「自分は『新井田小のよい子のやくそく』を全部言える」…49%
- 9 「自分は進んで授業に参加している」…89%
- 10 「学校は楽しい」…89%
- 11 「自分は家の人の手伝いをすることがある」…82%
- 12 「自分は家の人から「ありがとう」と言われることがある」…84%
- 13 「自分は家の人から褒められることがある」…86%
- 14 「自分は家の人と将来の話をするすることがある」…71%



学校目標達成に向けての取り組みの一つとして、夏休み中に子どもたちにお手伝いをさせて、頑張りをお家の人から褒めてもらう機会を設けました。張り切ってお手伝いをした子どもたちがたくさんいたことを嬉しく思うと共に、その頑張りをお褒めして子どもの自己有用感の向上に取り組んでくださった保護者の皆様、ありがとうございました。今後も目標達成に尽力していく所存です。保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



「啐啄」（そったく）：「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、
「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。